

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市道整備改良事業	担当課	建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	任意の事務
	基本事業	未改良道路の整備	市民協働	
予算科目コード		01-080202-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 4 m未満の市道を拡幅改良し車両交互通行及び道路排水の改善を図る為、用地買収，補償，設計，工事を計画的に実施する。
道路の拡幅改良整備を求める意見や要望に対応するため。（排水施設含む）	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
生活に密着した道路を拡幅整備することにより，緊急車両等を円滑に通行させるとともに，交通の利便性及び居住環境の向上を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
歩行者・自転車・自動車が快適に通行できるよう，生活道路の整備を進める。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
拡幅の要望は多いが，寄附等の同意が得られていない箇所もあり，計画とおりに進行しない。整備路線の必要性和優先順位を考慮し，要望路線を計画的に整備していく必要がある。	4～6月 要望書の整理
	7～9月 着手可能路線の調査
	10～11月 整備計画作成
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
現在ある拡幅要望を基に，財政計画を見据えた整備計画を立てる。住民・地権者に十分な説明をし，地元の理解・協力を得て要望に対応していく。	
新たな補助金（防災・子供安全まちづくり交付金）を活用し，事業費の削減を検討する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■ 増加 □ 維持 □ 削減	拡幅要望に対応するため，継続的に実施していく必要がある。 次年度は，(株)前川脇の道路・新守谷駅進入路の拡幅事業に着手。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
限られた予算で要望箇所の市道整備を計画的に進めた。	要望箇所のうち、優先順位の高い路線の整備を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
道路改良率（道路台帳総括表）（％）	67.85	69.25	69.45	69.75	71.70
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	市道整備により、交通安全の確保及び住環境の向上が図られた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 □ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	次年度から前川前道路、新守谷駅進入路の拡幅工事に着手するため。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	121,992	114,998	136,187	518,963	518,963
	国・県支出金	0	0	0	89,153	89,153
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	25,511	5,410	60,000	60,000
	一般財源	121,992	89,487	130,777	369,810	369,810
正職員人工数（時間数）		3,250.00	2,713.00	3,629.00	0.00	0.00
正職員人件費		13,325	11,123	15,151	0	0
トータルコスト		135,317	126,121	151,338	518,963	518,963